

# 1. 自然っておもしろい、自然の営みに触れ「科学する心」を育もう 岡崎市緑丘保育園（愛知県岡崎市）

## I. 科学する心を育むために

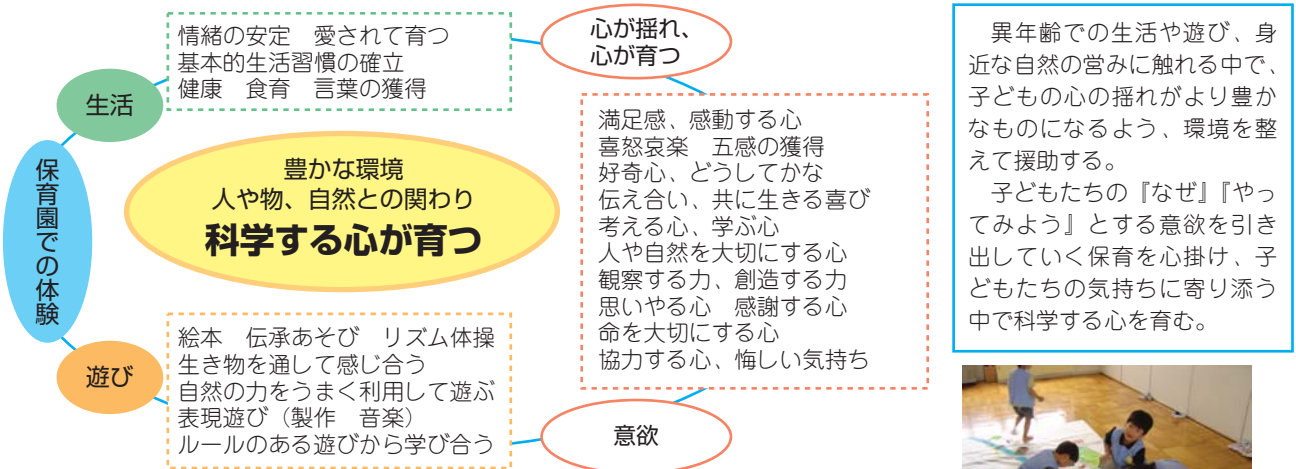
（昨年度）一人ひとりの子どもの気持ちに寄り添いながら身近な自然に主体的に関わる様々な活動を展開し、感動を味わうことができた。

遊びを通して自分の体験から感じ取り、自分なりに心の中で受け止める。さらに、周りの友達や保育者と一緒に試したり話し合ったりして、刺激し合って考えを出していく力が豊かな感性となり、意欲を育み「科学する心」の育ちの基盤になっていると捉えた。



（今年度）子どもたちの『自然っておもしろい』『とことんやってみたい』という意欲をありのままに受け止め、昨年度までの豊かな経験を繋いでいく実践内容と、恵まれた地域の自然環境をおおいに利用した実践内容を通して科学する心の育ち合いを探る。

## II. 科学する心を育む構想



## III. 事例【5歳児の姿を中心に】

### 1. 「蚕を育てよう」の取り組み（P26参照）

	【子どもたちの主な姿】
<p><b>蚕どんどん大きくなるね</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>蚕に優しく触てみよう。</li> <li>桑の葉をあげよう。</li> <li>二番蚕まで育てよう。</li> </ul>	<p>「先生、また大きくなったね」「前は赤ちゃん指ぐらいだったのにお兄さん指ぐらいになった」と自分の指に例えて<b>表現する</b>。(5歳)</p> <p>「パリパリ食べてる音がする」「なんか前よりも音が大きくなったような気がする」「うちも大きくなった」とやりとりをする。(4歳)</p>
<p><b>桑の木マップを作ろう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>桑の木を探してみよう。</li> <li>散歩で見つけたものを描いていこう。</li> </ul>	<p>「小学校の近くの親子遠足で通った道に桑の木があるとお母さんが言った」「この前散歩で行った大きな池の所にもあったよ」「この辺に車屋さんがあるよね」「ここでタンポポの根っこ掘りをしたよ」「池はすごい大きかったから大きく描こう」などと子どもたちは<b>今までの出来事や何がどの辺にあったのかを思い出しながら描き込んでいく</b>。</p>
<p><b>まゆの長さを調べてみよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まゆから糸を出してみよう。</li> <li>リレーのようにして、みんなで交代しながら調べてみよう。</li> <li>自分たちで糸の長さを予想して、確かめてみよう。</li> </ul>	<p>繭の糸がどのくらい長いに興味をもち、本に1300mと書いてあることから、廊下や園庭でその長さを確かめることにする。園庭を20周してはほぼ糸がなくなったことから、園から1300mの場所を予想して、『園から車屋』『園から池』『池からタンポポ橋』『池から桑の木』『池から車屋』の5コースに分かれて、<b>実際に糸を出しながら歩いて確かめる</b>。</p>

## <配慮点>

### 育ち合い、伝え合い

- ・糸取りでは、自分たちで蚕の糸の長さを考え、自分たちの中の不思議や疑問を目で見ても確かめることで、実際の長さを感じたり確認したりして、自分のものとなっていけるようにする。
- ・身近な地域で予測をし、実際に自分たちで糸を取りながら長さを体感できるようにする。
- ・飼育する中で各年齢に合った発想、発見を受け止め、異年齢との繋がり、伝え合っていくことを大切にす。

### 地域交流

- ・散歩の中で、桑の木を探し、桑の木マップを作ることを通して、身近な地域のことを知ることができるようにする。



## 2. タンポポで遊ぼうの取り組みのまとめ

### タンポポの綿毛で遊ぼう

- ・みんなで飛ばしてみよう。
- ・綿毛を作ろう。

咲き終わりで興味が薄れていたタンポポが、散歩から帰ると膨らんでいるのを見つけ「さっきより綿毛になってる」と気づき観察したことで、**花はだんだん綿毛になることが分かる。**  
綿毛で遊んだり咲き終わりのタンポポで綿毛作りをしたりする。

### タンポポの茎で遊ぼう！

- ・タンポポ笛吹ける？  
(お母さんに教わり挑戦)

「タンポポ笛吹ける？」とお母さんに教えてもらって、タンポポ笛に挑戦する。「太い茎がいい？」「優しく吹くといいよ」と伝え合ったり、「茎の長さで違う音が出るね」と音色の違いにも気付いたりする。何回も失敗を繰り返しながらも**挑戦する。**

### タンポポのことを良く知ろう

- ・タンポポの根っこって本当に長いのか？…根っこ掘りに挑戦しよう。
- ・葉っぱの形は違うのか？…集めて比べてみよう。

何回もタンポポ掘りの**挑戦を重ねて**いったことにより、根の先まで**見つけること**や他の葉と**見分けることが分かって**くる。目的に合う長い根っこを持つタンポポは、葉が大きいものなのではないかと**予想をつけて行動に移す。**また、掘り方では、引っ張って失敗したことを友達同士で**伝え合い**、道具もうまく利用しながら、手で**優しく土を退かしていく方法を身につけて**いく。

### タンポポってどんな味？

- ・タンポポコーヒーを飲んでみよう。

## <配慮点>

### 育ち合い・伝え合い

- ・身近で親しみやすいタンポポは、子どもたちの遊びに様々な関わらせていくのに絶好の教材である。地域の中の自然に触れながら、保育者も一緒に様々な挑戦をしていく中で子どもたちが驚きや発見に出会い、興味、関心を深める。

### 地域交流

- ・六斗目川周辺の散歩を重ね、色々な草花の生息している場所を知り、それらの情報を活用してタンポポ遊びに活かす。



## ポイント

園生活全体を視野に入れて、子どもたちの生活と遊びの両面から「科学する心」を育むように考えられています。蚕の事例では、生き物の成長を通して育まれるばかりでなく、子どもたちの興味や追求に沿って展開されることで、広く地域の様子にも視野や学びの場を広げています。タンポポの事例では、興味をもったかわりを通して次第に思いや考えが深まり、「タンポポをよく知ろう」という目的をもった探求になっています。どちらの事例も、「とことんやってみよう」という子どもの気持ちや人とのかわりも大切にしながら、**主題に迫る子どもたちの姿を捉えています。**